資　料　提　供	
平成２１年６月１０日	
提　供 (担当者)	地方独立行政法人 鳥取県産業技術センター 電子・有機素材研究所 有機材料科 （木村/寺田 ｷﾑﾗ/ﾃﾗﾀﾞ）
電　話	0857-38-6207

肌荒れに悩む女性に優しい「因州和紙を用いたあぶらとり紙」（鳥取県産業技術センター共同研究開発）の製品化について

地方独立行政法人鳥取県産業技術センター電子・有機素材研究所（所長　西本弘之 ニシモト ヒロユキ）では、ヒロデザインスタジオ（小西　裕美 コニシ ヒロミ 氏）と共同で、因州和紙の特徴を活かして、従来のあぶらとり紙より肌触りが柔らかく、吸油性と吸水性に優れる「あぶらとり紙」を開発しました。なお、開発した「あぶらとり紙」は、ヒロデザインスタジオが６月中旬に販売を開始する予定です。

１ 開発内容

（１）経緯

肌荒れに悩む女性が使用できる柔らかな肌触りを持つあぶらとり紙が市販されていないことから、財団法人鳥取県産業振興機構の「次世代・地域資源産業育成事業」を活用して平成２０年９月に開発をスタート。

（２）内容

竹繊維を配合した因州和紙を使用することにより、従来のあぶらとり紙と比較して、柔軟性があり、最大約１．５倍の吸油性、約３倍の吸水性を持つあぶらとり紙を開発。

（特許出願中：特願 2009-077017 号「あぶらとり紙」）

２ 製品概要

（１）商品名称

「ａｎｅｌａあぶらとり紙」（ドラッグストア等で販売）

「因州和紙あぶらとり紙」　（土産物等として販売）

（２）商品仕様　　枚　　数：５０枚／パッケージ

サ イ ズ：縦×横　140㎜×70㎜）

（３）小売価格　　４００円(税抜き)

（４）販売目標　　月間１０，０００個

（５）販売開始　　平成２１年６月１５日(予定)

「因州和紙あぶらとり紙」については調整中。

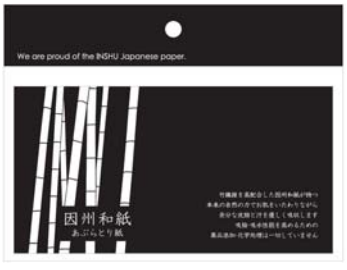
（６）製造・販売　　和紙製造：いなば和紙協業組合

打紙工程：株式会社 ARAI メタリックス

（協力：株式会社勝原製作所）

パッケージ：有限会社サンパック

販売：ヒロデザインスタジオ



※「ａｎｅｌａあぶらとり紙」は、ヒロデザインスタジオの自社ブランド「ａｎｅｌａ」（美顔用石鹸「マナソープ」等で既に展開）を活用してドラッグストア等で販売し、「因州和紙あぶらとり紙」は、因州和紙を全面に出した因州和紙の新たな商品として販売を計画。